

事業番号	11 05 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）				<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	水害に強い地域づくり	部局	建設部	課・室	河川課				
		実施期間	S58 ～	E-mail	kasen@pref.nagano.lg.jp				
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係									
重点目標									
総合的に展開する重点政策	4-1 県土の強靱化								

1 現状と課題

近年頻発する豪雨により毎年水害が発生する一方で、河川整備率が40%未満で横ばい状態である。水害に備えるため、計画的なハード・ソフトが一体となった対策を実施する必要がある。

2 事業目的

洪水による被害を最小限に抑えるため、計画的な対策等を進め、地域防災力の向上を目指す。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

①河川改修等のハード・ソフト対策の推進


- ・洪水による被害を抑えるため、市街地を流下し、氾濫被害発生のおそれの高い河川を重点的に改修。
- ・内水氾濫を防止するため排水機場等の整備を実施。
- ・中小河川における浸水想定区域図の作成を実施。

②信濃川水系緊急治水対策プロジェクトの取組

- ・令和元年東日本台風の被害を受け、被害の軽減に向けた治水対策を実施。

③ダム施設の更新・機能回復

- ・県管理ダムにおいて、長寿命化計画に基づき、ダム管理用制御処理設備等の更新を実施。
- ・ダムの治水機能を維持する堆積土の除去等を実施。



(一) 浅川(長野市)

4 成果指標

(推移の凡例 ↗: 改善 ↘: 悪化 →: 変化なし —: 数値なし)

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	市街地を流下し、氾濫被害発生のおそれの高い河川における浸水想定家屋数	戸	6,184	5,329	↗	4,421	↗	4,600	達成	河川改修等のハード対策の推進により発現される事業効果を、被害軽減の観点で設定した。	
②	洪水予報河川・水位周知河川を除いた浸水想定区域図作成済の河川数（累計）	河川	101	196	↗	319	↗	319	達成	市町村が作成するハザードマップに必要な浸水想定区域図の作成を推進することにより、住民への災害に対する情報提供の観点で設定した。	

5 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R4年度	13,519,870	7,465,151	12,716,875	33,701,896	2,505,271	17,368,125	85.4
R3年度	18,749,321	8,436,615	9,388,628	36,574,564	2,770,241	22,992,546	78.9
R2年度	7,268,978	11,932,664	13,615,450	32,817,092	2,238,115	14,069,359	86.6

事業番号	11 05 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	水害に強い地域づくり		部局	建設部	課・室	河川課

6 主な取組実績と成果

①河川改修等のハード・ソフト対策の推進

・市街地を流下し、氾濫被害発生のおそれの高い河川において河川改修を進めるため、令和4年度は塚間川（岡谷市）等において河道拡幅等を実施した。
 ・浅川（長野市）においては、浸水対策として排水機場の整備を進めており、令和4年度は基礎工を整備した。
 ・緊急自然災害防止対策事業債を活用し、令和4年度は、藤沢川（伊那市）等において護岸工等を整備した。
 ・県内河川170河川において河川改修を実施した。



塚間川 岡谷市

②信濃川水系緊急治水対策プロジェクトの取組

・プロジェクトに位置付けられた12箇所において、堤防強化や堤防整備を進めている。令和4年度は千曲川東大滝、抜井川・余地川において整備を完了した。



藤沢川 伊那市

③ダム施設の更新・機能回復

・ダム長寿命化計画に基づき水上ダムほか12ダムにおいて、ダム管理用制御処理設備等の大規模改修工事を実施し、ダム管理体制の強化を図った。松川ダムでは、貯水池内の堆積土砂約10万m³を掘削・搬出し、治水機能の維持を図った。

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	市街地を流下し、氾濫被害発生のおそれの高い河川における浸水想定家屋数	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	達成
河川改修等のハード対策について、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策予算を活用し事業を実施したことで、目標の浸水想定家屋数の解消を達成することができた。							
指標②	洪水予報河川・水位周知河川を除いた浸水想定区域図作成済の河川数（累計）	R3年度推移	↗	R4年度推	↗	達成状況	達成
浸水想定区域図について、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策予算を活用し事業を実施したことで、目標の河川数を作成することができた。							
指標③		R3年度推移		R4年度推		達成状況	
指標④		R3年度推移		R4年度推		達成状況	
指標⑤		R3年度推移		R4年度推		達成状況	

8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題

・河川改修等のハード・ソフト対策の推進について、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策予算を活用し、過去に浸水被害のあった河川の改修や、浸水想定区域図の作成等により、被害の防止・軽減を図る必要がある。
 ・信濃川水系緊急治水対策プロジェクトの取組について、令和6年度までに完了を目指しており、事業実施中である10箇所について進捗を図っていく必要がある。
 ・ダム施設の更新・機能回復について、引き続き防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策予算を活用し、長寿命化計画に基づいた必要な対策を集中的・計画的に実施する必要がある。各ダムの長寿命化計画策定から年月が経過しており、計画とダム現状に乖離が見られるため各ダムにおいて長寿命化計画の見直しを行う必要がある。

(2) 翌年度以降の事業改善の方策

・河川改修等のハード・ソフト対策の推進について、信濃川水系緊急治水対策プロジェクトや流域治水プロジェクトに位置付けられた、水害リスクの高い河川の河川改修を実施していく。市町村が作成するハザードマップに必要な中小河川における浸水想定区域図の作成を引き続き進める。
 ・信濃川水系緊急治水対策プロジェクトの取組について、ロードマップに基づき進捗管理を行い、計画的に事業を実施する。
 ・ダム施設の更新・機能回復について、各ダムにおいて必要な対策を計画的に実施するとともに、長寿命化計画の見直しを行い、事業を推進していく。

事業名	水害に強い地域づくり	部局	建設部	課・室	河川課
-----	------------	----	-----	-----	-----

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	河川改修事業費	8,133,832 千円	14,348,295 千円	9,411,654 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	河川改修事業	直接	市街地を流下し、氾濫被害発生のおそれの高い河川において、護岸工、橋梁工、用地補償等を実施。中小河川において、浸水想定区域図の作成を実施。 実施箇所 千曲川（飯山市等）以下19箇所	
2	浸水対策重点地域緊急事業	直接	床上浸水被害が生じた地域において、河川改修や排水機場の整備を実施 実施箇所 浅川（長野市）	
3	広域連携事業	直接	広域にわたる人や物の流れを活発にするため、民間活動に合わせて道路・河川の整備を実施 実施箇所 新川（諏訪市）以下3箇所	
4	大規模特定河川事業	直接	集中的な投資が必要な調節池や排水機場の整備等を実施 実施箇所 黒沢川（安曇野市）以下6箇所	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	ダム建設費	1,158,142 千円	2,349,468 千円	2,895,383 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	堰堤改良事業	直接	ダム機能の回復又は向上を図るため、ダム管理用制御処理設備等の改良を実施 実施箇所 水上ダム(松本市)以下13箇所	
2	ダム建設事業	直接	堆砂の進行が顕著なダムについて、治水機能を維持するため、堆砂対策に関する調査・測量設計、堆積土除去工を実施 実施箇所 裾花ダム・奥裾花ダム(長野市)、松川ダム（飯田市）	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
3	県単河川改修維持費	4,777,385 千円	6,294,783 千円	5,061,088 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	県単河川改修費	直接	洪水被害軽減のため、護岸工、測量設計、用地補償等を実施 実施箇所 藤沢川（伊那市）以下123箇所	
2	県単河川維持費	直接	河川の適正な管理のため、施設の修繕及び洪水流下の支障となる堆積土の除去等を実施 実施箇所 県内一円	